Generative AI Business Days 2024

生成AIの最新動向とビジネス活用

～企業が生成AI導入を進めるには～

SHIFT AI
Shift to AI era.

株式会社 SHIFT AI CEO
生成AI活用普及教協会 理事
GMO AI & Web3株式会社 顧問

木内 翔大

登壇者紹介

株式会社 SHIFT AI CEO ／
生成AI活用普及教協会 理事 ／
GMO AI & Web3株式会社 顧問

木内 翔大

木内翔大@SHIFT AI代表「日本をAI先進国に」
@shota7180

事業概要

SHIFT AI

6,000名の生成AI人材を育成し、2,500社の生成AI活用を支援

コミュニティ事業

AI活用の知見が集まるコミュニティ

最新AIトレンド、スキルアップ、つながりを
得られる国内最大級のAI活用コミュニティ

企業向け研修事業

組織のAI活用人材を育成する

LMSで手軽に学べるeラーニング
ハンズオンで手厚いワークショップ

日本でもっともAI人材を生み出し

「日本をAI先進国に」

本日のテーマ

生成AIのビジネスへの活用状況と
企業への導入方法を理解する

目次

1　自己紹介＆本日のテーマ

2　企業での活用状況

3　企業に生成AI導入は必要か？

4　生成AI導入ロードマップ

5　生成AI導入における課題と求められる人材

6　おわりに

02

企業での活用状況

生成AIでできること

SHIFT AI

情報検索・整理

- リサーチ・ファクト収集
- レポートや要約の作成
- ニュースやトレンドの追跡
- データ分析の補助

業務効率化

- スケジュール管理
- メール応答の自動化
- 各種文書作成（議事録・提案書・・）
- 顧客サポートの自動化

日常生活

- レシピ提案や料理ガイド
- 飲食店、施設探し
- 旅行プランの作成
- 健康管理のアドバイス

コンテンツ生成

- 記事やブログの執筆
- キャッチコピーの作成
- コーディング支援
- 言語翻訳

学習／教育

- 個別学習プログラムの提供
- 専門知識収集
- 語学学習のサポート
- 課題の理解や解説

創作活動

- 動画生成
- 音楽生成
- 画像・デザイン生成
- シナリオライティング

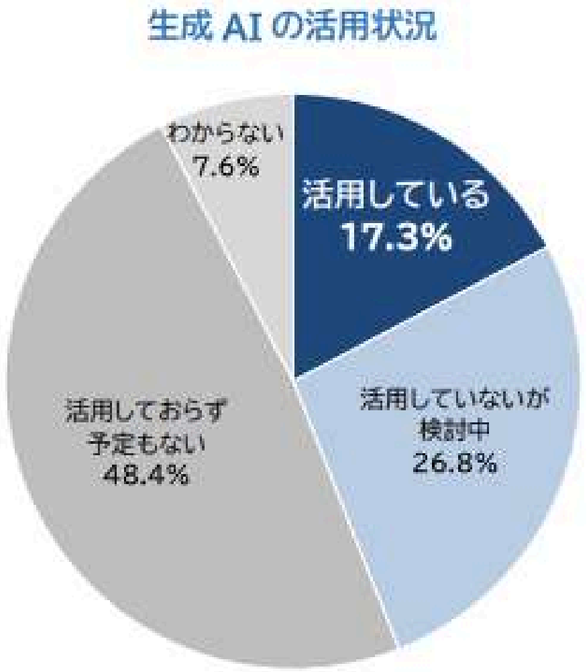
企業での生成AI活用状況

SHIFT AI

2024年8月時点で活用企業は17.3%

調査結果（要旨）

1. 『生成 AI 活用』企業は 17.3%、うち 9 割近くの企業が一定の効果を実感
2. 活用用途は「情報収集」が 59.9%でトップ
3. 生成 AI の推進体制、企業の半数超で内製化、ただし、従業員数が多いほどその割合は低下
4. 生成 AI 活用に対する理解、『経営者』と『一般社員』に大きなギャップあり
5. 指針やガイドライン策定状況、5 割以上の企業で「策定に前向き」
6. 懸念や課題は「AI 運用の人材・ノウハウ不足」が 54.1%でトップ



https://www.tdb.co.jp/report/watching/press/pdf/p240802.pdf

企業規模別での生成AI活用状況

SHIFT AI

従業員数1,000人以上、
売上高1,000億円以上の企業で
最も活用が進んでいる

属性別生成AI活用の割合		活用	検討中	予定なし
全体		17.3	26.8	48.4
業績	建設・不動産	9.4	23.4	58.4
	製造	14.4	25.9	50.9
	卸売	14.4	25.7	51.6
	小売	20.4	24.6	46.1
	運輸・通信	10.4	24.3	59.0
	サービス・その他	28.0	32.4	35.2
従業員数	10人未満	17.8	21.5	53.9
	10人以上50人未満	14.3	26.7	52.1
	50人以上100人未満	13.9	26.1	54.0
	100人以上1000人未満	18.2	33.9	38.8
	1000人以上	36.9	29.2	16.7
売上高	1億円未満	25.1	24.6	44.7
	1億円以上10億円未満	15.9	24.4	52.9
	10億円以上100億円未満	12.4	29.3	51.6
	100億円以上1000億円未満	21.0	28.7	38.2
	1000億円以上	36.9	31.9	14.2

(%)

※1：網掛けは全体と比べて5ポイント以上の差があることを示す
※2：母数は「活用している」と回答した812社
出典：https://www.tdb.co.jp/report/watching/press/pdf/p240802.pdf

“GMOインターネットグループ” のAI活用事例

SHIFT AI

グループ全体で約13万2,000 時間/月の業務時間削減

PRESS RELEASE

GMO INTERNET GROUP

2024 年 7 月 5 日

報道関係各位

GMO インターネットグループ

GMO インターネットグループ、
生成 AI 活用により 2024 年上半期で約 67 万時間の業務時間を削減
～国内パートナー（従業員）の 83.9%が生成 AI を活用～

https://www.gmo.jp/pdf/news/gmo_news_8922.pdf

“GMOインターネットグループ” のAI活用事例

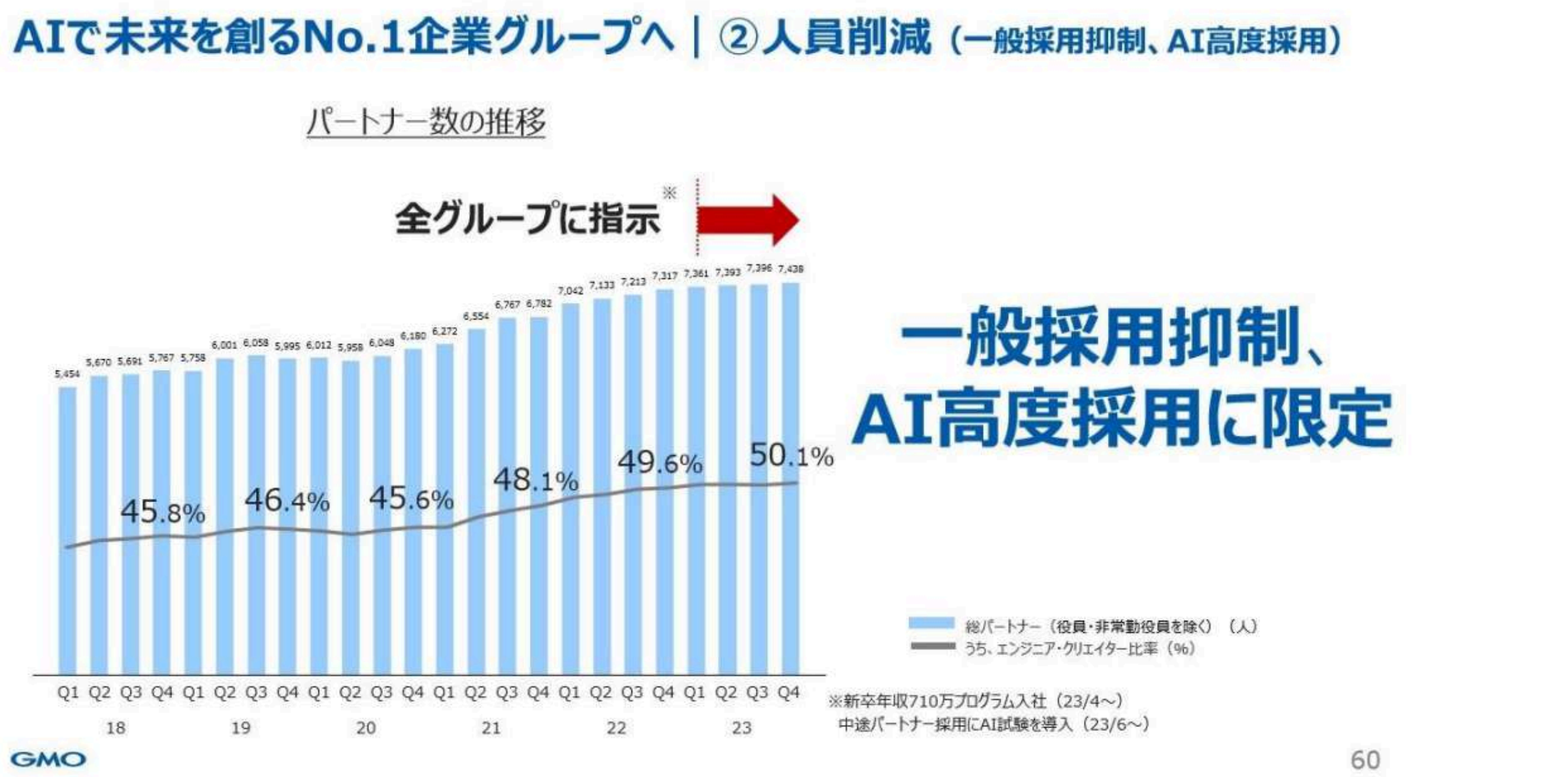
SHIFT AI

具体的な活用範囲

一般業務	情報収集、情報整理、情報の要約、議事録作成、分析、レポーティング
営業	資料作成、リスト作成
カスタマーサービス	AIチャット化、自動応答
広告・ クリエイティブ	サイトデザイン・構成案、記事・バナー・画像・映像の制作や修正
システム	開発・コード生成、コードチェックの自動化、障害予知、異常検知、脆弱性診断自動化
管理業務	資料のドラフト作成、契約書レビュー、翻訳業務　等

SHIFT AI

一般採用を抑制、AI高度採用限定の採用を開始



https://www.gmo.jp/news/article/8680/

一方で…

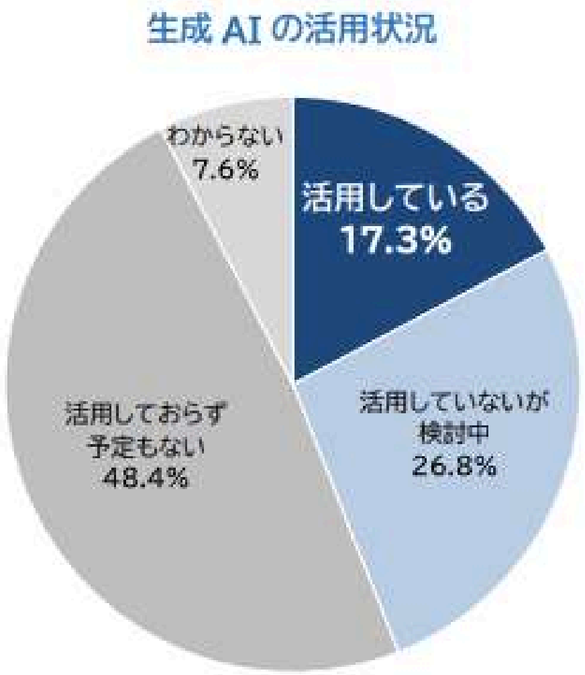
企業での生成AI活用状況

SHIFT AI

導入を全く考えていない企業が50%以上

調査結果（要旨）

1. 『生成 AI 活用』企業は 17.3%、うち 9 割近くの企業が一定の効果を実感
2. 活用用途は「情報収集」が 59.9%でトップ
3. 生成 AI の推進体制、企業の半数超で内製化、ただし、従業員数が多いほどその割合は低下
4. 生成 AI 活用に対する理解、『経営者』と『一般社員』に大きなギャップあり
5. 指針やガイドライン策定状況、5 割以上の企業で「策定に前向き」
6. 懸念や課題は「AI 運用の人材・ノウハウ不足」が 54.1%でトップ



https://www.tdb.co.jp/report/watching/press/pdf/p240802.pdf

企業間の差が大きく開いている

03

企業に生成AI導入は
必要か？

企業にAIが必要か？

SHIFT AI

コスト削減、売上向上に直結（短期目線）

経営戦略にAIの組み込みが必須となる（中長期目線）

企業にAIが必要か？

SHIFT AI

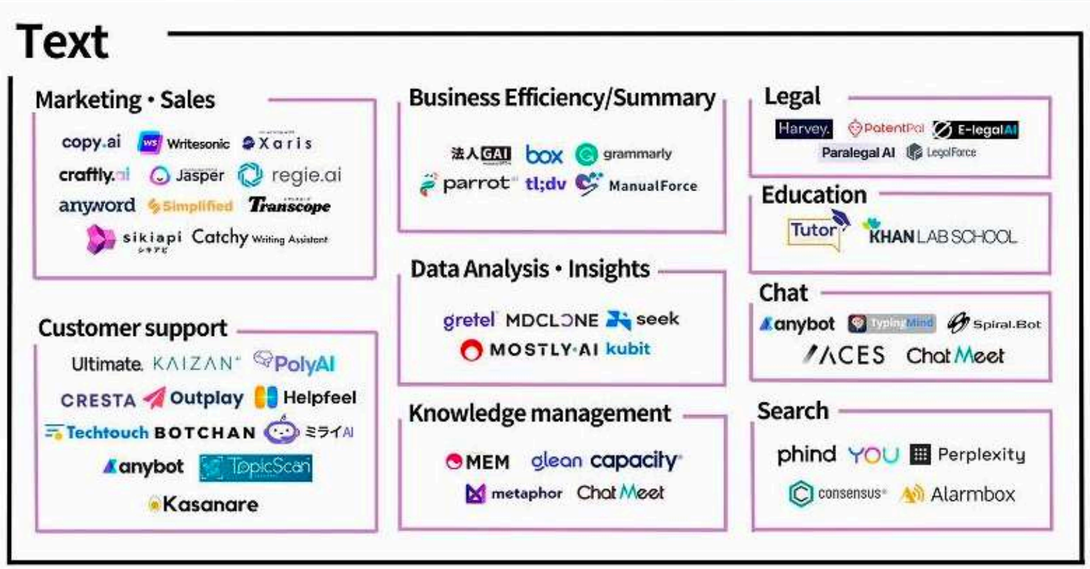
コスト削減、売上向上に直結（短期目線）

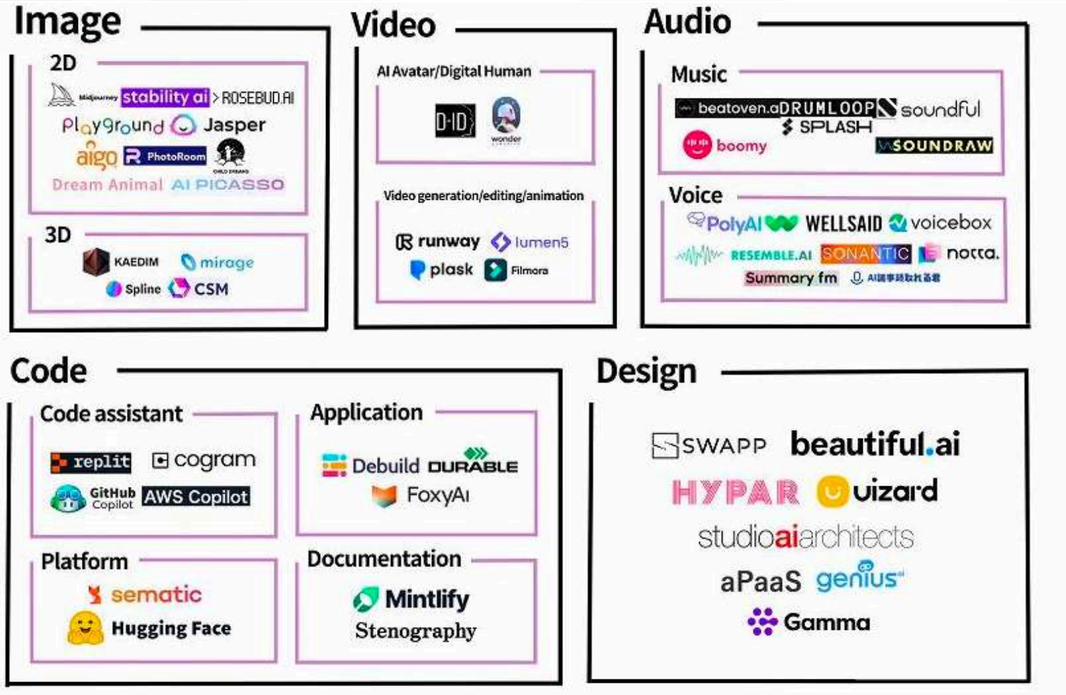
経営戦略にAIの組み込みが必須となる（中長期目線）

ChatGPTが世間を騒がせて以降、様々なAIツールが登場

SHIFT AI

今や生成AIであらゆることが創造できる





https://www.sbbit.jp/article/cont1/121476

生成AI × 既存の業務領域 の組み合わせ

SHIFT AI

生成AI
×
営業

生成AI
×
マーケティング

生成AI
×
エンジニアリング

生成AI
×
クリエイティブ

生成AI
×
バックオフィス

生成AI
×
DX推進

生成AI
×
経営

各業界のコスト削減事例

SHIFT AI

生成AIの活用により、幅広い業界でコスト削減を達成

金融業界

三菱UFJ銀行、生成AIで月22万時間の労働削減と試算

生成AI　＋フォローする

2023年12月7日 18:30 [会員限定記事]

保存

事務や営業といった銀行業務への生成AI（人工知能）導入で、三菱UFJ銀行は労働時間の削減効果が月22万時間以上に相当するとの試算をまとめた。同行は11月に行員4万人程度を対象に米マイクロソフトのクラウドサービス経由で生成AI「Chat（チャット）GPT」の利用を開放した。

生成AIは稟議（りんぎ）書の作成などに生かすほか、社内文書のドラフト作成に使う

IT業界

LINEヤフー、ソフト開発に生成AI　作業1日2時間効率化
【イブニングスクープ】

日経スクープ　＋フォローする

2023年10月12日 18:00 [有料会員限定記事]

保存

LINEヤフーは10月中旬からソフトウエア開発に生成AI（人工知能）を全面的に導入する。社内のエンジニア約7000人全員が使えるようにする。作業時間を平均で1日当たり約2時間減らし、空いた時間を新サービスの考案など付加価値が高い業務にあてる。

宿泊業界

星野リゾート、全施設の宿泊予約センターで生成AIを導入　メールの自動生成などで顧客対応力を強化

MarkeZine編集部[著]　2024/08/06 16:15

レジャー・観光　ニュース　AI　業務効率化

通知

「旅を楽しくする」をテーマに国内外に72施設を運営する星野リゾートは、生成AI搭載のオペレーター支援ツール「KABAKURI assist」を導入した。これにより、宿泊予約センタ

コンビニエンスストア業界

セブン、商品企画に生成AI
期間10分の1に短縮

2023年11月3日 2:00 [会員限定記事]

保存

セブン―イレブン・ジャパンは2024年春から商品企画に生成AI（人工知能）を導入し、企画にかかる期間を最大で10分の1に短縮する。全店舗の販売データやSNS（交流サイト）の消費者の声の分析を基に商品の文章や画像をAIに作成させて、流行やニーズに合った商品を素早く売り出す。

世界の流通大手では店内のカメラで顧客の視線を把握して興味ある商品を割り出した

コールセンター業界

2024.06.07

コンタクトセンター自動化の未来を共創するユーザー企業参画型プログラム、生成AI Co-Creation Lab.を始動

システム開発を行うCTCや生成AIの最前線を担う日本マイクロソフト、Google Cloud、AWSなどのAI技術や専門知識を活用し、労働人材不足の課題解決を目指す

国内外でBPO事業を展開する株式会社ベルシステム24（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員：梶原 浩、以下：当社）は、「生成AI」と「ヒト」のハイブリッド型コンタクトセンターの構築を目指し、参画企業間での事例共有などを行うユーザー企業参画型プログラムとなる、生成AI Co-Creation Lab.（コ・クリエーションラボ）（以下：本プログラム）を開始します。
本プログラムでは、コンタクトセンターの幅広い運用知見を持つ当社と、AIのシステムインテグレーションの実績を持つ伊藤忠テクノソリューションズ株式会社（以下：CTC）に加え、生成AI開発の最前線を担う日本マイクロソフト株式会社（以下：日本マイクロソフト）、Google Cloud、アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社（以下：AWS）や、データマーケティング領域の支援を行う当社子会社の株式会社シンカー（以下：シンカー）、自然言語処理領域の支援を行うベクスト株式会社（以下：ベクスト）などの各社が持つAI技術や専門知見を活用していきます。また、今後も同様の企業の加入を促進します。
自社コンタクトセンターに生成AIを導入したいけれど何から始めて良いか分からない、数ある生成AIモデルから自社に合ったものを選択したい、本格導入に向けたリアルデータでの検証を実施したいなど、様々な課題やニーズをお持ちの企業が本プログラムに参画することで、参画企

https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUB270LP0X21C23A1000000/　https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC05AHR0V01C23A0000000/
https://markezine.jp/article/detail/46436　https://www.nikkei.com/article/DGKKZO75854640T01C23A1MM8000/　https://www.bell24.co.jp/ja/news/bell24/20240607/

“GMOインターネットグループ” のAI活用事例

SHIFT AI

グループ全体で約13万2,000 時間/月の業務時間削減

PRESS RELEASE

GMO INTERNET GROUP

2024 年 7 月 5 日

報道関係各位

GMO インターネットグループ

GMO インターネットグループ、
生成 AI 活用により 2024 年上半期で約 67 万時間の業務時間を削減
～国内パートナー（従業員）の 83.9%が生成 AI を活用～

https://www.gmo.jp/pdf/news/gmo_news_8922.pdf

“パナソニックコネクト”のAI活用事例

SHIFT AI

印刷

技術・研究開発 / プレスリリース　2024年6月25日

パナソニック コネクト 生成AI導入1年の実績と今後の活用構想

～1年で労働時間を18.6万時間削減～

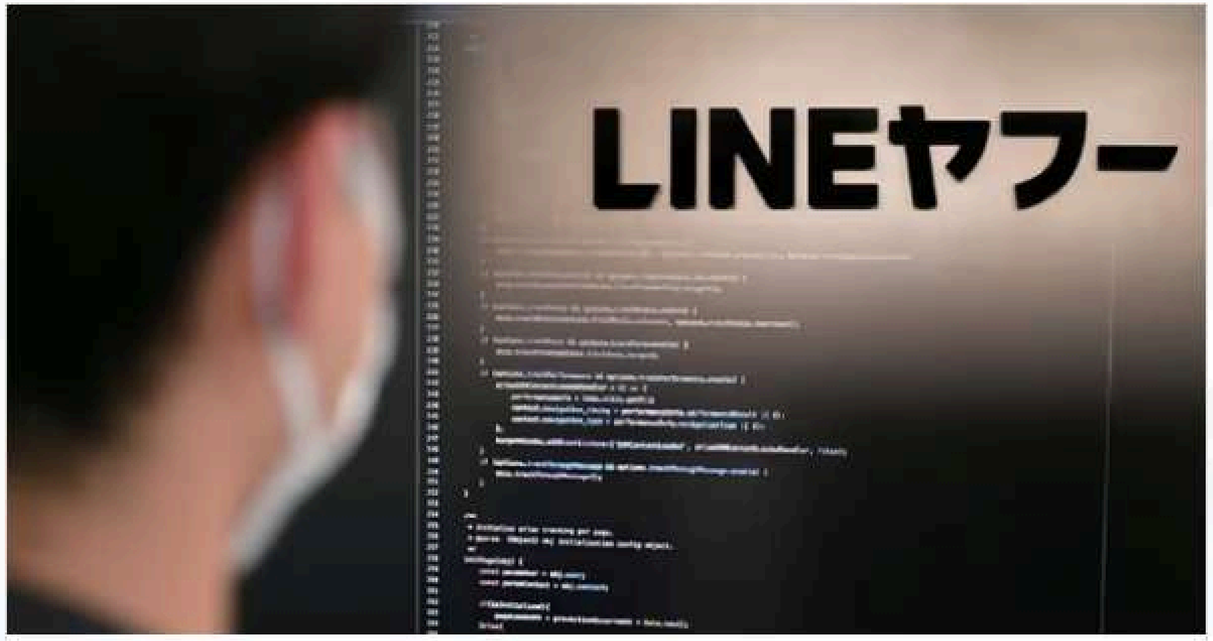
- AIアシスタントの導入
- 社員のAI活用スキル向上

全社員の労働時間を18.6万時間/年削減

https://news.panasonic.com/jp/press/jn240625-1

“LINEヤフー”のAI活用事例

SHIFT AI



LINEヤフー、ソフト開発に生成AI 作業1日2時間効率化

LINEヤフーは10月中旬からソフトウエア開発に生成AI（人工知能）を全面的に導入する。社内のエンジニア約7000人全員が使えるようにする。作業時間を平均で1日当たり約2時間減らし、空いた時間を新サービスの考案など付加価値が高い業務にあてる。…

日本経済新聞 / Oct 12, 2023

参考：https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC05AHR0V01C23A0000000/

- GitHub Copilotの導入
- 社員のAI活用スキル向上

エンジニアの作業時間を1日2時間削減

AIでコスト削減が可能に

SHIFT AI

生成AI「GitHub Copilot」を活用した場合のコスト削減事例

AI
1日2時間の削減×7,000人×10営業日（半分）×12か月＝168万時間の削減 168万時間×1人当たりの時給2,000円＝33.6億円（概算）

エンジニア約7000人の1日2時間の時間削減は33.6億円相当に該当
浮いた時間は、新たなサービスの考案などの付加価値が高い業務に費やしている

参考：https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC05AHR0V01C23A0000000/

AIで売上向上が可能に

SHIFT AI

売上に寄与する

営業の生産性が
大幅に向上

参考：https://www.youtube.com/watch?v=_3tieMKxazs&t=1994s

YouTubeで「今井さん」と「AI」が対決した新規開拓の生産性比較

今井さん

1時間5件×7時間×10営業日（半分）×12か月×10%＝420アポ

420アポ×商談受注率10%＝42件受注　42件×200万円単価＝8400万円

AI

1時間30件×7時間×10営業日（半分）×12か月×4%＝1008アポ

1008アポ×商談受注率10%＝100件受注　100件×200万円単価＝2億円

238%の生産性

参考：https://www.youtube.com/watch?v=_3tieMKxazs&t=1994s

AIで売上向上が可能に

SHIFT AI

売上に寄与する

1. 生産性が数倍になれば案件数も数倍にできる
   一人当たりの売り上げを倍増させるポテンシャルがある

2. プロンプトテンプレートなどの活用で
   新人の即戦力化が可能

企業にAIが必要か？

SHIFT AI

コスト削減、売上向上に直結（短期目線）

経営戦略にAIの組み込みが必須となる（中長期目線）

SoftBank 孫社長が生成AIについて講演

SHIFT AI

SoftBank 孫社長「AGI到来は非常に大きなインパクトをもたらす」

SHIFT AI

シンギュラリティ

技術革新や知能のレベル
シンギュラリティに到達する
人工知能の賢さが人間を超える
人間の知能レベル
指数関数的な進化のスピード
時間（年代）
現在
2029年
2045年

人間より賢いAIの誕生

りょうちけ🦋AI×SNSの教科書📕
@ryo_kun0811

Claude３がレベチすぎてヤバい😅

いよいよAIが【IQスコア:101】を叩き出し
一般的な人間より賢くなりました。

※ちなみに人間のIQの平均値は90〜100です。

ChatGPT５が出るまではClaude３の独壇場？

AIs ranked by IQ

MAXIMUM TRUTH
MaximumTruth.org

AI	IQ Score	Questions right (out of 35 per test)	Chance it beats random guessing
Claude-3	101	18.5	99.999999%+
ChatGPT-4	85	13	99.9986%
Claude-2	82	12	99.9911%
Bing Copilot	79	11	99.9314%
Gemini (normal)	77.5	10.5	99.8212%
Gemini Advanced	76	10	99.5894%
Grok	68.5	7.5	87.9402%
Llama-2 (Meta)	67	7	80.3278%
Claude-1	64	6	56.3155%
ChatGPT-3.5	64	6	56.3155%
Grok Fun	64	6	56
Random Guesser	63.5	5.8333	

Tests given in March 2024. The IQ test was Mensa Norway, with all questi
verbalized as if one w
shows the % of rand
ignored.

OpenAIがGPT-4oをリリース

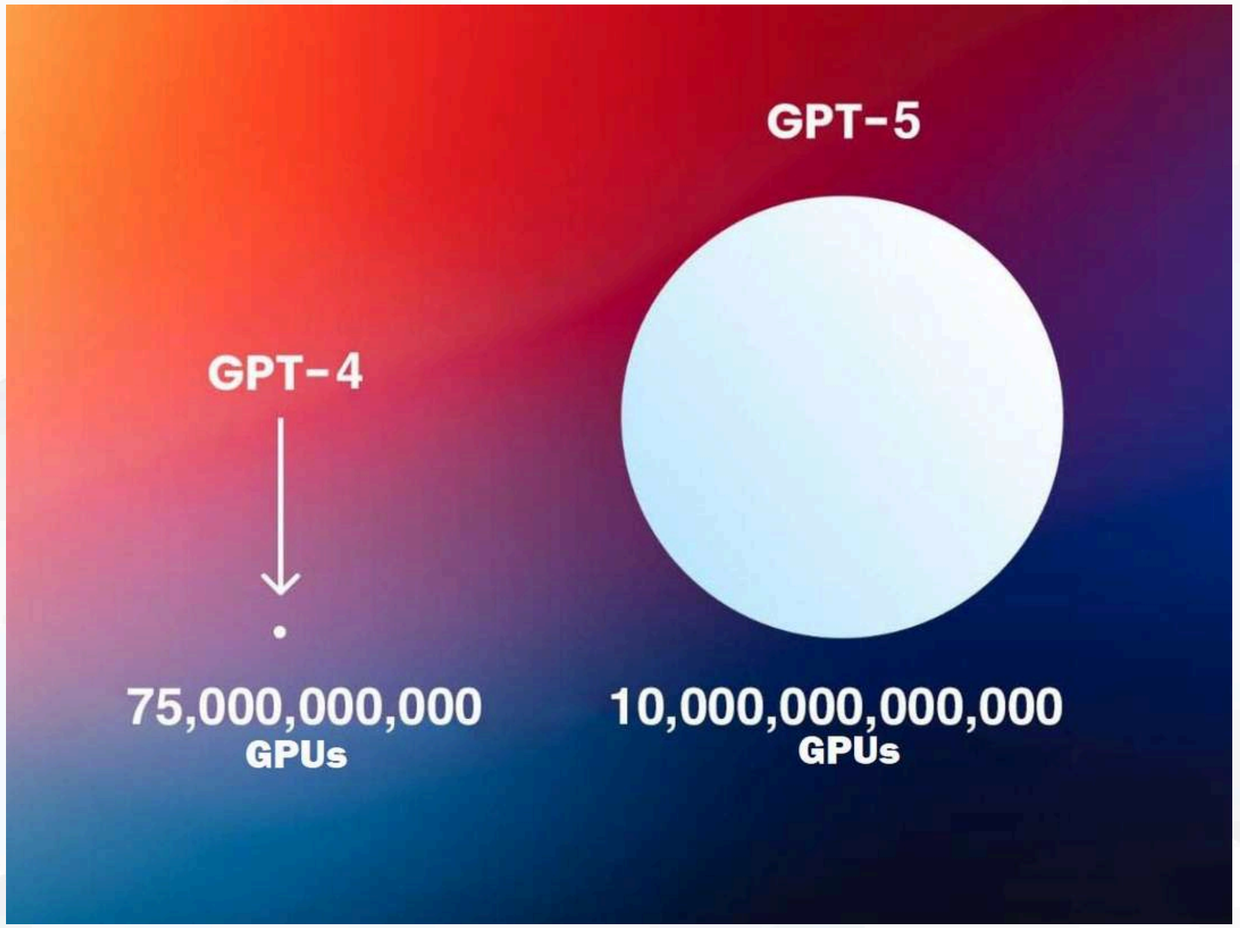
SHIFT AI

人間並の応答スピード

感情表現ができる

途中で声の抑揚や
トーンも変えれる

年内に次世代モデルリリースか



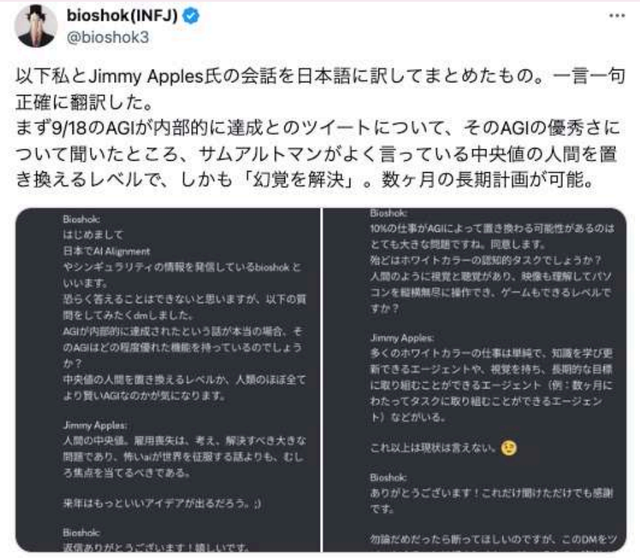
イーロン・マスクもあと1年でのAIの人間超えを予測

AGIのリリースはまもなくとの噂も

SHIFT AI

Open AIメンバー Jimmy Apples氏による発言

AGIは内部的に達成されている



Jimmy Apples氏とAIインフルエンサー bioshok氏 のやりとり

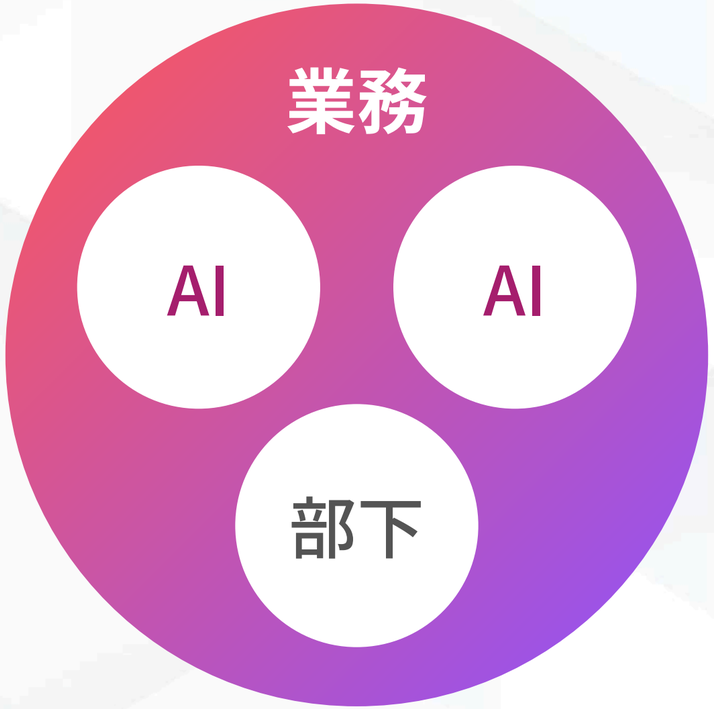
- 2025年末までに中央値レベルのAGIがリリースされる
- 視覚を持ち、数ヶ月の計画をたててタスクに取り組めるAIが登場する

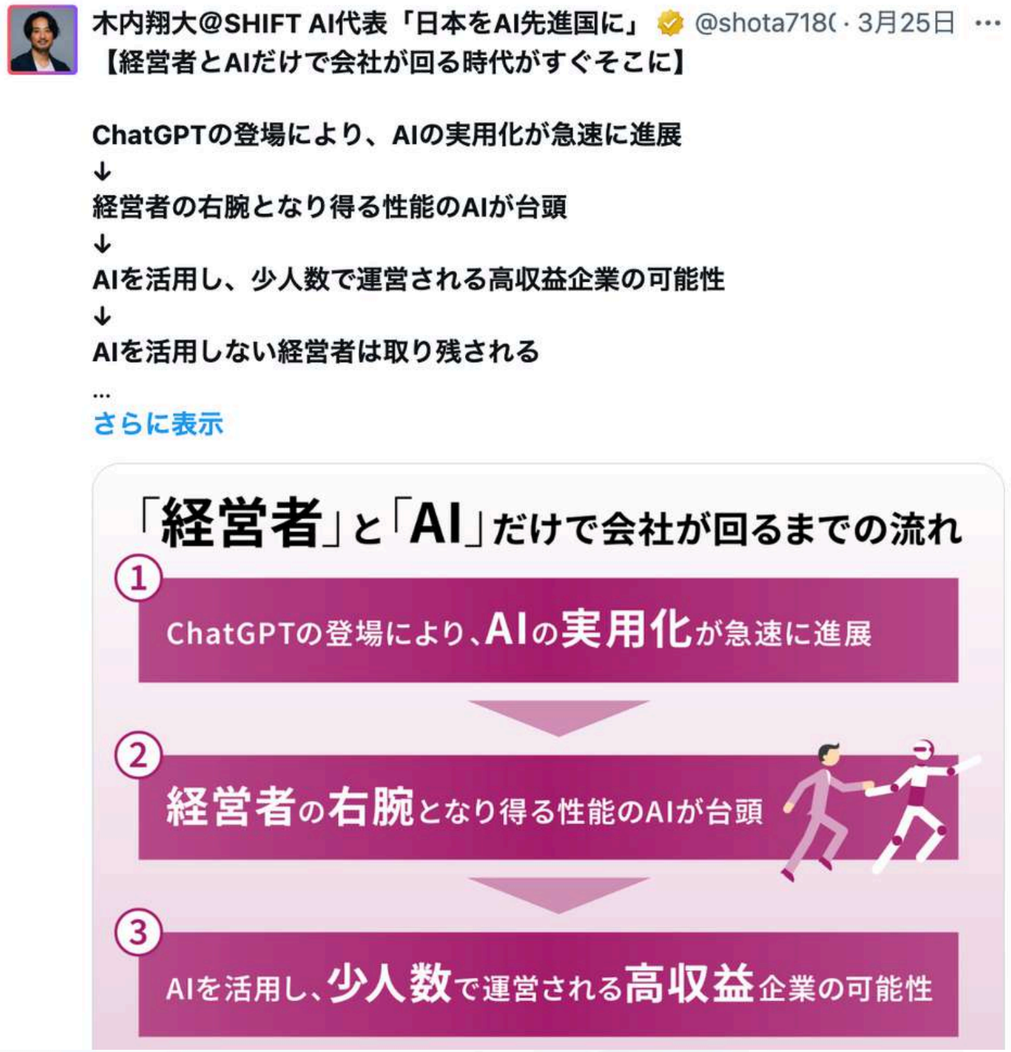
→AIを人の代わりに働かせる時代

AIが仕事に与える影響

SHIFT AI

人とAIが働くことが当たり前に





生成AI時代への適応は経営課題

SHIFT AI

この約30年で、IT時代に適応できた企業が飛躍的に成長

参考情報：「東京新聞」1989年～現在にかけての「企業の時価総額ランキング」

時価総額ランキング（1989年）

ランキング	企業名	拠点
1位	NTT	Japan
2位	日本興業銀行	Japan
3位	住友銀行	Japan
4位	富士銀行	Japan
5位	第一勧業銀行	Japan
6位	IBM	U.S.A
7位	三菱銀行	Japan

時価総額ランキング（2023年）

ランキング	企業名	拠点
1位	Apple Inc.	U.S.A
2位	Microsoft Corporation	U.S.A
3位	Saudi Arabian Oil Company	Saudi Arabia
4位	Alphabet Inc.	U.S.A
5位	Amazon.com, Inc.	U.S.A
6位	NVIDIA Corporation	U.S.A
7位	Berkshire Hathaway Inc.	U.S.A

生成AI時代への適応は経営課題

SHIFT AI

すでに2024年の時価総額TOP6は生成AIに取り組んでいる企業

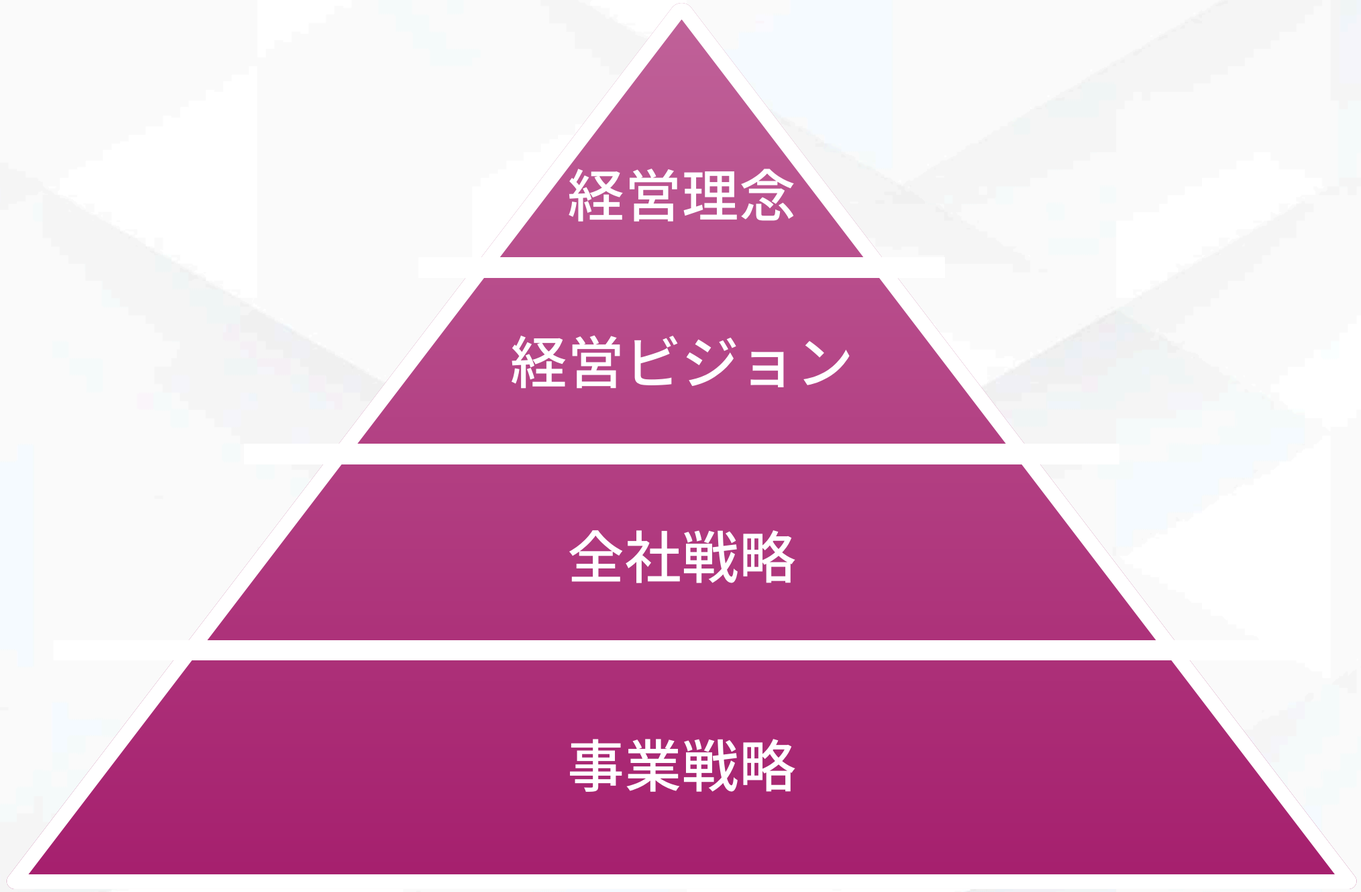
時価総額ランキング（2024年6月26日現在）		
ランキング	企業名	拠点
1位	Microsoft Corporation	U.S.A
2位	Apple Inc.	U.S.A
3位	NVIDIA Corporation	U.S.A
4位	Amazon.com, Inc.	U.S.A
5位	Meta Platforms, Inc.	U.S.A
6位	Alphabet Inc.	U.S.A

参考情報：「日本経済新聞」米国株 アメリカ企業時価総額上位ランキング

生成AI時代への適応は経営課題

SHIFT AI

経営理念～事業戦略までAIの組み込みが必須に



04

生成AI導入
ロードマップ

AI導入ロードマップとは？

SHIFT AI

AI導入を進めるには5つのステップがあります。

SHIFT AI

STEP1：生成AI活用の戦略化

STEP1「生成AI活用の戦略化」の概要

SHIFT AI

企業の成長戦略に生成AI活用を組み込む

生成AI活用による目的・目標を明確にし、発信する

目標をもとに、推進チームを設置する

STEP1「生成AI活用の戦略化」のアクション

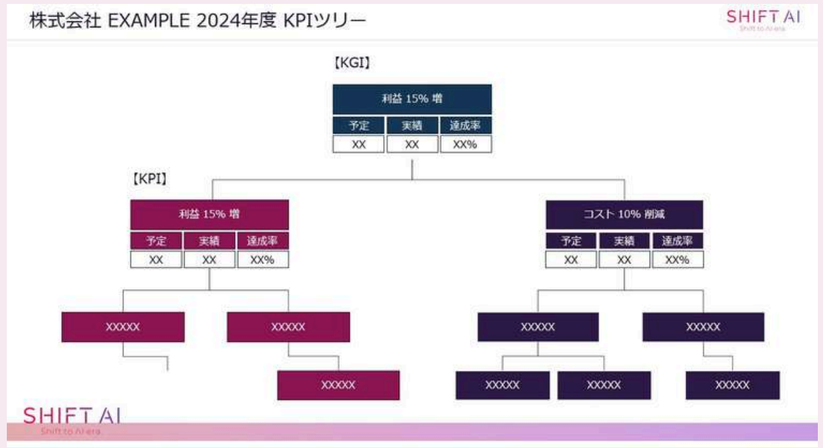
SHIFT AI

目的目標の明確化

推進チームを中心に従業員の共感が得られる目標を策定。
会社のビジョンと目標が明確化されている必要がある。

目標策定

AI活用による数値的な目標を設定



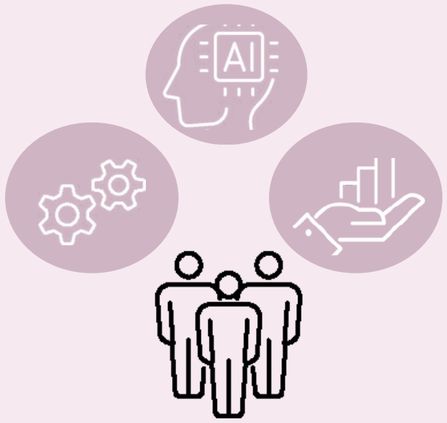
経営層のメッセージを発信

目標達成に向けたメッセージを発信

※例）スローガン等

目標浸透

現場の共感を得る

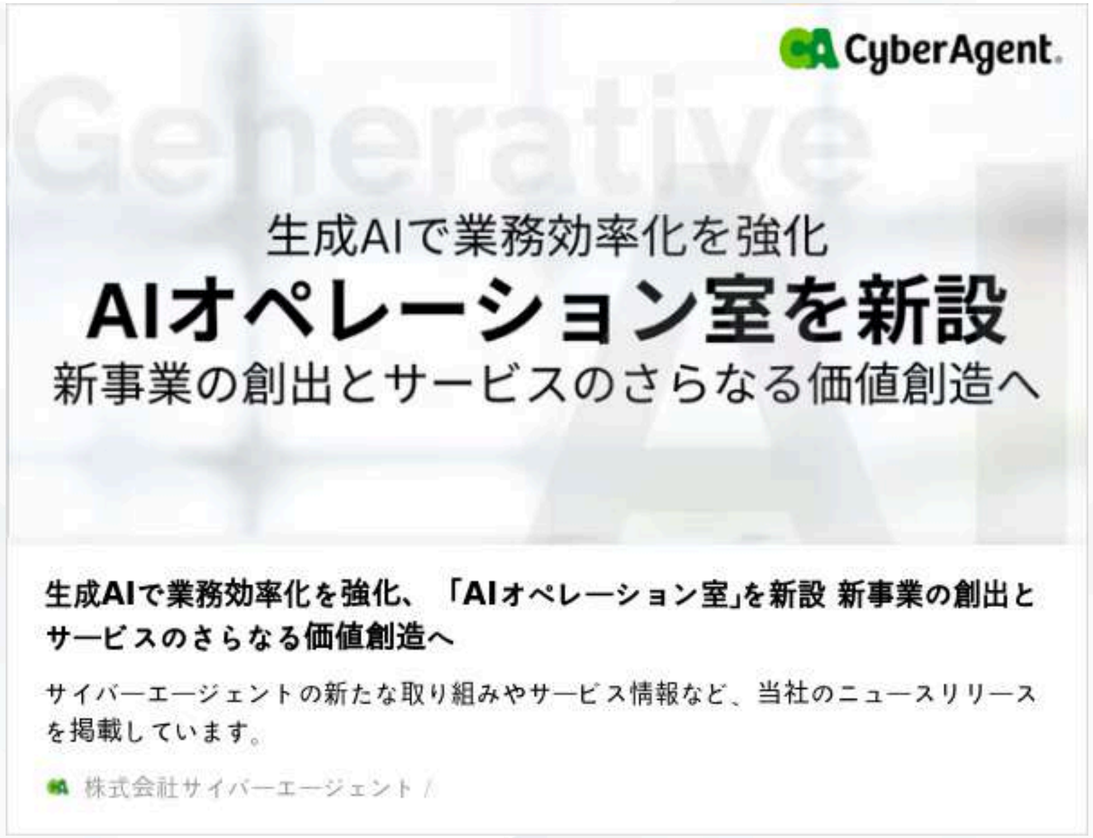


※ITIL®4 に準拠

サイバーエージェント　オペレーション業務の6割を削減（事例）

SHIFT AI

2026年までに6割のオペレーション業務削減を目標に組織を新設



引用元：株式会社サイバーエージェント（公式サイト/プレスリリース）

GMOインターネットグループ　18億円相当の業務効率化（事例）

SHIFT AI

年間で18億円相当の業務効率化の実現を2024年度の目標に設定

2024年2月13日

GMOインターネットグループ2024年度AI活用方針
「AIで未来を創るNo.1企業グループへ」
AIにより年間18億円相当の業務効率化を目標に設定

GMOインターネットグループ株式会社

引用元：GMOインターネットグループ株式会社（公式サイト/プレスリリース）

SHIFT AI

STEP2：生成AI推進基盤の構築

STEP2「生成AI推進基盤の構築」の概要

SHIFT AI

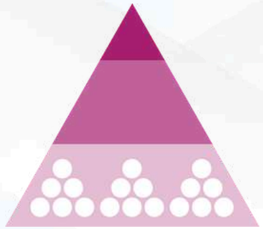
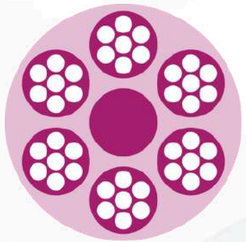
生成AIを効果的に活用できる組織・環境を整える

1 自律分散型組織	自発的な取り組みがボトムアップに生まれるような 自律分散型の組織体制をトップダウンで構築する
2 利用環境構築	予算/利用用途/使いやすさ/セキュリティなどの リスク対策を考慮した利用環境の構築
3 ガイドライン策定	予算/利用用途/使いやすさ/セキュリティなどの リスク対策を考慮した利用環境の構築

SHIFT AI

AI推進組織の発足

現場業務の理解が深いメンバーをアサインした自律分散型の組織が重要

	中央集権型組織	自律分散型組織
イメージ		
概要	特定の部署が中央集権的にプロジェクトを進め 社内へのAI導入やDX推進を担う組織形感	各部門にデジタル感度の高いメンバーをアサインし 自律的にAI導入のプロジェクトを進める組織形態
メリット	一質性があり、スピード感を持って プロジェクトを主導できる	各部門から自発的にさまざまな取り組みが発生。 部署の状況に合わせた柔軟な対応が可能。
デメリット	柔軟でアジャイルな対応が難しいケースもある。	自律分散型組織

参考情報：生成AI導入の教科書（おざけん）

SHIFT AI

利用環境の構築

導入方法（テキスト生成AIの場合）

個人利用できる生成AIをそのまま利用	→	ChatGPT、Geminiなど
法人向け生成AIサービスを利用	→	ChatGPT Team Plan、SaaSなど
自社開発して導入	→	パナソニック、日清などの社内AI環境

STEP2「生成AI推進基盤の構築」のアクション

SHIFT AI

生成AI環境の選定

利用目的と要件の明確化	生成AIの利用シーンをリストアップ セキュリティや必須機能要件を洗い出し
予算の確認	導入・運用予算を確認 実現可能な環境を選定
技術要件の確認	インフラ要件、スケーラビリティ、 カスタマイズ要件の確認
選択肢の評価と比較	要件、予算、導入・運用のしやすさから 各選択肢を評価

STEP2「生成AI推進基盤の構築」の事例

SHIFT AI

パナソニックコネクト

Connect AIは1日に5000回以上の利用が確認 → 自社データの読み込みや個人特化AIを開発

2023年

公開情報を基に広い質問に回答してくれる
汎用AIに、企業独自の社外秘情報を
読み込ませた自社特化AIを開発

2024年以降

個人特化AIとして、個人の役割に応じた
回答をするAIを導入する方針を発表

PX
Panasonic
Transformation

「ConnectAI」をベースにして、
パナソニックグループに最適化した「PX-AI」を開発・展開。
グループ全体で業務のトランスフォーメーションを加速。

引用元： https://content.connect.panasonic.com/jp-ja/fai/file/50794

SHIFT AI

ガイドラインの策定

生成AI活用における主要リスクに対応するために、ガイドラインの策定が求められる

情報漏洩	ハルシネーション	著作権侵害

生成AIを導入しようとしている

◯業務の内容　◯目的　◯そこで取り扱うことが想定される情報の内容　◯性質等

に応じて、必要な項目を慎重に検討する

SHIFT AI

STEP3：パイロットプロジェクトの実施

SHIFT AI

パイロットプロジェクトでの事例創出

事例があれば、社内調整が効きやすい。

まずは、特定の部署などから
パイロットプロジェクトを開始し、
小さな効果を上げる。

そこから分散型組織で全社に
生成AIを広げていく。

アクション1.プロジェクトチームの編成

SHIFT AI

事例創出のため、現場メンバーをアサインしたチームを編成

dipの例

3000名の社員に対し、各部署から250名以上のアンバサダーを配置した
全社横断プロジェクトチーム「dip AI Force」を立ち上げ

200以上の事例を創出し、プロンプトデータベースをNotionで公開

SHIFT AI

プロンプトエンジニアリングのインプット

	テーマ	実施日程	ゴール	ワークショップ概要
1	生成AI基礎 & プロンプトエンジニアリング	8月22日(2時間)	生成AIの基礎（プロンプトエンジニアリング含む）のテプロンプトエンジニアリングクニックを身に付ける (知識)	・生成AIの業務活用余地 ・プロンプトエンジニアリングの説明 ・プロンプトエンジニアリング演習
2	業務活用シーンの検討	9月上旬 (90分)	業務活用シーンの特定	生成AIの業務活用シーンの検討
3	業務シーンにおける プロンプトエンジニアリング	11月中旬 (90分)	業務シーンにおけるプ ロンプト活用方法を身に 付ける	・プロンプト解説 (重点的に実施) ・プロンプトエンジニアリング演習
4	業務シーンにおける プロンプトエンジニアリング	11月下旬 (90分)	自業務におけるプロン プト活用方法を身に付け る	・プロンプト解説 ・プロンプトエンジニアリング演習 (重点的に実施)

SHIFT AI

活用シーンの特定、効果を試算

業務分解

- 業務のリストアップ
- 業務の階層化
- 業務のタスク分解

活用箇所の特定

- 効率化の影響の大きさを評価
- AIの活用可能性の評価
- 活用箇所を特定

効果の試算

- コスト削減、 生産性向上、品質改善など
- AI導入による効果を試算

アクション3.事例蓄積と効果検証

SHIFT AI

研修やワークショップを通じて個々人が事例を創出

事例はプロンプトデータベースとして蓄積

各事例における業務効率、アウトプット品質向上の
効果測定を行い、効果を検証する

SHIFT AI

STEP4：全社員の活用浸透

社員のAIリテラシー向上に向けたアクション

SHIFT AI

社員向け研修の実施

生成AIの 基礎理解	活用事例	プロンプト エンジニアリング
業務に使える AIツール	業務の棚卸し 活用箇所の特定	AI倫理・リスク

社員のAIリテラシー向上に向けたアクション

SHIFT AI

GMO

7000名の従業員に向けて
最新動向やツールの理解を深める、
研修を月に最低２回開催。

チャットボットや自動化ツールの作成など、
実践ベースの短期AI人財育成プログラム
『虎の穴』を2024年2月より開始。

https://www.gmo.jp/news/article/8802/

事例：社員のAIリテラシー向上

SHIFT AI

メルカリ

生成AI技術を活用し、メルカリグループ内の生産性向上や課題解決、新機能の開発、利用指針の策定、ならびに社員のスキル向上を支援

グループ内での具体的な取り組み
① ガイドラインの策定
② 勉強会・ハッカソンの開催
③メルカリ社員専用ツールの作成
④組織横断チームの組成

https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/digital_jinzai/pdf/016_03_00.pdf

SHIFT AI

STEP5：文化形成

STEP5「文化形成」の概要

SHIFT AI

現場従業員の生成AI活用の浸透が一番大切。
泥臭く社内浸透施策を打ちづづけていき、
活用率の向上を行う。

STEP5「文化形成」の事例

SHIFT AI

GMO,dip,ソフトバンクグループなど

報酬金制度

評価制度

AIのアンバサダー
プログラム

AIリーダー育成
プログラム

プロンプト
データベース

外部エキスパート
招聘

STEP5「文化形成」の事例

SHIFT AI

報酬金制度

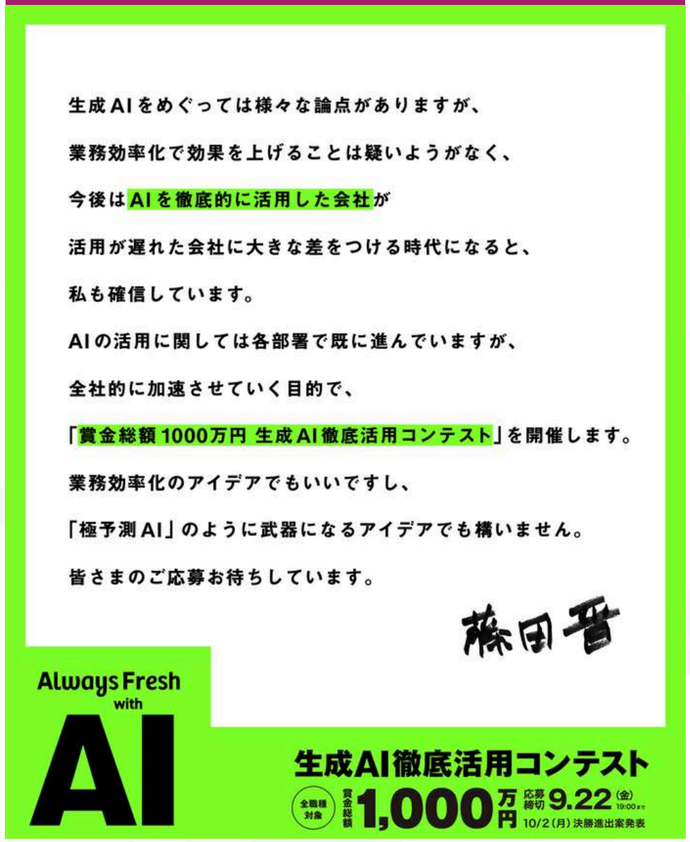
GMO

https://www.gmo.jp/news/article/8338/

ソフトバンク

出典：ソフトバンクグループ　定時株主総会資料

サイバーエージェント



https://www.cyberagent.co.jp/way/list/detail/id=29503

STEP5「文化形成」の事例

SHIFT AI

アンバサダー招聘

2023年6月

GMO AI＆Web3株式会社の顧問に
茶圓氏と木内が就任

https://www.gmo.jp/ai-history/

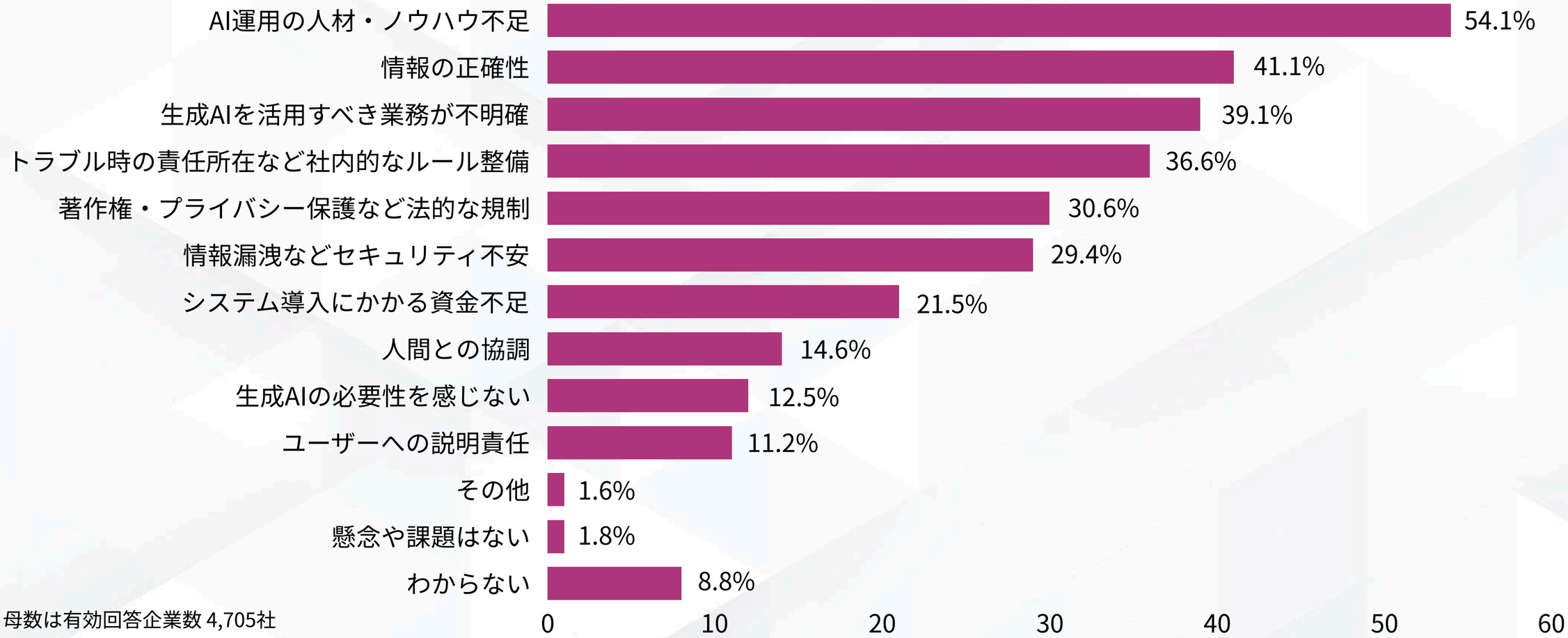
05

生成AI導入に
おける課題と
求められるAI人材

生成AI活用の課題の50%以上は、AI人材・ノウハウの不足

SHIFT AI

生成AI活用の課題・懸念



※母数は有効回答企業数 4,705社

生成AI導入における課題

SHIFT AI

人材・ノウハウ以外によく企業から相談を受ける課題 TOP5

1	生成AIを自社業務にどう活用できるか分からない
2	著作権/データ漏洩などのリスクへの不安
3	先行事例がなく費用対効果が分からず投資に踏み切れない
4	社内での活用推進の進め方が分からない
5	導入はしたが一部の人にしか使われていない（二極化）

これらの課題を解決できる
AI人材が求められている

「従業員のAIリテラシーがあるか」が「AI活用」につながる

従業員一人一人の
AIリテラシーが

ある・ない

＝

企業でAIを
活用できて

いる・いない

SHIFT AI
Shift to AI era.

日本をAI先進国に

SHIFT AIが、日本の未来をシフトする。

AIは世界を変える力を持っています。生成AI技術は急速に進化し、
様々な分野で注目を浴び、世界中で革命を引き起こしています。
しかしながら、日本はAI人材不足とケーススタディの不足から、
国際的な競争に遅れを取っているのが現状です。

SHIFT AIの使命は、この課題に立ち向かい、AIの知識と情報を集結させ、
日本のAI業界をリードする存在になることです。

SHIFT AIは、AIに関する情報発信、教育、活用支援の3つの軸で
日本のAI推進の加速を実現します。

SHIFT AIの企業様向け提供サービス

SHIFT AI

生成AI活用企業への変革パートナーとして、教育を主軸に一気通貫で伴走支援いたします。

座学での知識向上 AIリテラシー向上支援

意識変革セミナー

- 意識改革セミナー
- 生成AI活用基礎セミナー

【基礎】E-learning

- 3hでわかる、生成AI基礎 コース
- 3hでわかる、ChatGPT コース
- 3hでわかる、copilot コース

×

知識から実践へのシフト 実務力向上支援

実践ワークショップ

- 生成AI導入戦略立案WS
- プロンプト構築/改善 WS
- 生成AI新規事業立ち上げ WS

【職種別】E-learning

- クリエイティブコース
- マーケティング/SNSコース
- バックオフィスコース
- 営業コース

×

実践の場での生成AI活用に向けて コンサルティング支援

導入/活用支援

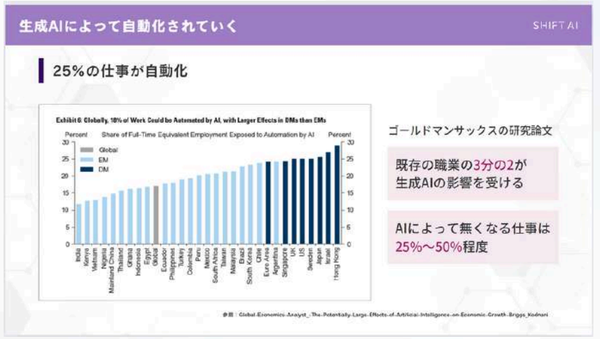
- 生成AI導入ロードマップ作成支援
- 生成AI活用促進支援
- 生成AIハッカソン支援
- 生成AI新規事業立ち上げ支援

コース例　全社員向け | 生成AI活用基礎セミナー（90分）

SHIFT AI

研修の目的：他社のAI活用事例から自社における生成AIの活用方法を考察

セクション名/時間	Topic	概要
セクション1 （約10分）	目的とGOAL	生成AIの最新トレンドをご紹介し 生成AIを学ぶ必要性を強調します。
セクション2 （約20分）	他社事例紹介	複数の他社事例を紹介し、生成AIがどのように業務改善 や新規ビジネスの創出に 貢献したかを解説します。
セクション3 （約30分）	カスタマイズ パート	事前ヒアリングにてお伺いした情報を基に 貴社であれば、どのような生成AI活用ができるのか 講師が他社事例を踏まえた活用法について ご紹介をします。
セクション4 （約20分）	プロンプト エンジニアリングと 生成AIトレンド	実践に向けたプロンプトエンジニアリングテクニックや 生成AIのトレンドについてご説明します。
セクション5 （約10分）	生成AI専門家による 質疑応答・アンケート	個別のニーズや不安に対応することで、 利活用のハードルを下げ、研修の効果を最大化します。



導入事例：中堅IT企業 様　受講人数：30名

SHIFT AI

課題と受講成果

【課題】
- スタッフの9割が生成AIを活用したことがない
- 前提知識もほとんどないため、社内での活用が進んでいなかった。

【受講成果】
- 7割以上の人が業務での生成AIの活用意欲を持てた。
- アンケートにて、要望や導入施策案を多く回収することができ、導入戦略が定まった。

受講者の声

営業部 AAさん	もっと実務で使っていきたいと思った。デモがあったので わかりやすかった。知識を得ることで勉強する意欲になりました。
広告部門 BBさん	AIはクリエイターにとっては脅威にも感じられますが、 改めてAIの活用に関して前向きに考えられるようになった。 AIを味方につけていきたい。

コース例　AI推進人材向け「導入戦略立案ワークショップ」

SHIFT AI

導入戦略立案ワークショップ ｜ ゴール：各部署・会社単位でAI活用やDXを推進する「生成AI推進者」になること

第1回：自身が生成AIを業務で活用できるようになる

- 【講義】本ワークショップの目的とGOAL
- 【発問】最近のニュースの中で、生成AIやDXの取り組みについてのGood＆Newの共有
- 【講義】生成AIの最新トレンド
- 【講義】生成AIの可能性と今後の必要性
- 【WS】生成AIによって世の中がどのように変わるのかの検討
- 【WS】生成AIによって自身の会社や、身の回りの業務がどのように変わるのかの検討
- 【WS】自身の会社が生成AIを活用することで数年後に同業他社とどのような差別化ができるの検討
- 【WS】生成AIの活用の目的と定義のサマリー
- 【宿題】第2回ワークショップ概要＋宿題のお知らせ

第2回：社内業務で削減対象を特定する

- 【講義】本ワークショップの目的とGOAL
- 【発問】「生成AI基礎コース」を受講した上でのGood&Newの共有
- 【講義】なぜ、生成AI推進者が必要なのか？
- 【講義】生成AI推進者に必要なスキルとは何か
- 【WS】「①現状と課題」部署の業務を細分化し、どの生成AIに代替されるのか
- 【WS】「②あるべき姿」削減できる業務を特定し、業務削減率を試算しよう
- 【WS】「③・④優先順位/プロジェクト名」対象業務を優先順位づけし、プロジェクト名を決めよう
- 【宿題】第3回ワークショップ概要＋宿題のお知らせ

導入事例：大手物流企業 DX推進担当者様

SHIFT AI

課題と受講成果

【課題】
・推進メンバーの生成AIに関する知識やスキルが不足していた。
・具体的な生成AIの活用方法や導入プロセスも不明確だった。

【受講成果】
・生成AIの実践的なスキルを習得した人材を育成することができた。
・社内メンバーを中心に生成AI推進PJが動き始めた。

WS受講者の声

AI戦略室
AAさん

今回のWSは、会社視点の活用が多く、始めてやってみてうまくいかない
ことなどを体感しながら答えを導き出す練習になった。

IT推進部
BBさん

生成AIが業務に与える影響について
グループ内や他グループの発表でインプットができ、
また自分が感じたことをアウトプットする良い機会になった。

コース例　Copilotコース

SHIFT AI

SHIFT AI
Shift to AI era.

研修No.③

Copilot コース

	Web版 Copilot	Copilot in Windows	Copilot for M365	職場向け Copilot	Copilot in Power Platform	Copilo Studio
どこから使う？	ブラウザ (Edge推奨)	Windows PC	MS365アプリ	Teams もしくは ブラウザ	各種 Power Platform	専用サイト
特徴	・GPT-4搭載 ・リアルタイムの情報に対応 ・回答が実在するURLと紐づく	Web版Copilot ＋ Windows PCの設定が可能	M365各ツールを自然言語で操作できる	M365の情報を横断的に検索可	アプリ、自動化フローの作成が自然言語で可能	3rdパーティーアプリ等を組み合わせたオリジナルのCopilotを作成
主な使い道	・検索 ・記事の要約 ・画像生成	・検索 ・PCの設定の変更 ・Power Automate	・議事録 ・メール作成 ・データ分析 ・スライド ・文章要約	・規定の検索 ・キーパーソンの特定 ・PDFの要約 ・FAQの作成	・社内アプリ開発 ・Teamsに投稿したURLの内容を自動要約 ・データ分析レポートの概要作成	・ERPからのデータ検索 ・URLベースのチャットボット開発

スケジュール(ある日の営業職)

9	出社→メールチェック
	メール返信、過去スレッドから顧客情報の検索
10	社内会議
11	会議内容の振り返りメンバーへ共有
	Webサイトの情報集約
12	
13	資料作成と推敲
14	
15	顧客訪問
16	
17	訪問報告書の作成

大量かつ長文のメールが山積み。
「あの人との打ち合わせいつだったかな？」

競合製品の[製品名]、[価格]、[サイズ]をExcelでまとめたい。時間がかかるし飽きる！

新サービスを提案する資料を作っているがサッパリ。詳しい人を頼りたいけど、誰なんだろう…？

書くべき内容は決まっているものの、きれいに構造化して書くには時間がかかりそうだ。

(Copilot in Outlook)

今回の悩み	具体的なユースケース
大量かつ長文のメールが山積み。「あの人との打ち合わせいつだったかな？」	・メールの要約 ・過去やりとりの検索 ・メールの下書き作成 ・メール文の添削

日本企業のCopilot導入事例

SHIFT AI

大塚商会

社内300名でパイロット利用を開始し、はやくも業務時間を月42時間削減

業務棚卸しの結果、対象業務の 60 %をCopilotで効率化できると判明

© 2024 SHIFT AI

コース詳細 Copilotコース

SHIFT AI

研修の目的：Copilotのスキルと考え方を網羅的に身につけ、明日から活用できる状態を目指す

Section0 オリエンテーション(30分)	Copilotが活用できるタスクや先進企業事例を学び、Copilotがもたらす実務へのインパクトを理解できる
Section1 生成AIとはなにか(60分)	本コースの学習内容やゴールを理解した上でマインドセットを行えている状態
Section2 Copilotの全体像(30分)	数多あるCopilotそれぞれの特徴や役割を理解し、適切に使いわける素養を身につける
Section3 Copilot入門(150分)	Web版Copilotを使う上で最初に押さえるべき基礎的な指示の出し方をマスターする
Section4 Copilotリサーチ活用(100分) Section5 Copilot in Outlook(40分) Section6 Copilot in Teams(30分) Section7 Copilot in Word(40分) Section8 Copilot in PowerPoint(40分) Section9 Copilot in Excel(60分)	Copilotならではの特徴であるリサーチやEdgeを通じた応用的な使いこなしを理解する メール作成や情報整理をAIで効率化する ミーティングにまつわるタスクを効率化し、すばやく会議内容を理解するためのプロンプト術を学ぶ AIを通じて思い通りの文章を生成するコツや見やすい文章をつくるための工夫について学ぶ Copilotを通じて資料の作成や内容理解を効率化する方法を学ぶ 苦手意識を持たれる方が多い関数作成やデータ処理など、Copilotを包括的に活用してExcel作業を効率化する
Section10 画像生成(60分)	思い通りの画像を生成するために必要なプロンプトの変数や実務で使えるフレーズを広く理解する
Section11 業種別活用事例(30分)	これまでの知識を複合的に活用し、Copilotを使ってリアルな業務課題を解決する

しかし、生成AIは技術の進化が早く、
常に学び続ける必要がある

契約企業限定ウェビナーを定期開催

SHIFT AI

＜生成AIの法的ポイント＞

＜生成AI時代の働き方＞

＜ゴールシークプロンプト＞

＜開発＞

＜LP作成＞

＜生成AIツール開発＞

＜ChatGPT使い方＞

＜仕事スキル＞

＜コーディング＞

＜生成AI × マーケティング＞

＜生成AI × 活用事例＞

＜生成AI × 社内教育＞

＜生成AI × 事業開発＞

＜生成AI × 社内推進＞

＜プロンプトエンジニアリング＞

週一回のウェビナーで常に情報をアップデート可能

研修実施の流れ

SHIFT AI

下記の流れで研修を実施いたします。

STEP 01 実施する研修を選ぶ
- パッケージから選択、
もしくはカスタマイズの要件定義

STEP 02 お申込みいただく
- 人数、日程を確定

STEP 03 事前学習/事前アンケートの実施

STEP 04 研修当日

STEP 05 振り返りアンケートの実施

STEP 06 ウェビナーでの継続学習
- 週一回の学習が可能

生成AIの導入方法は各企業様ごとに大きく異なる

SHIFT AI

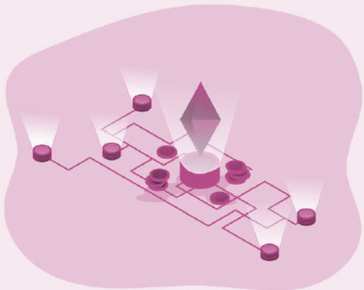
生成AIは活用の幅が日進月歩で広がっているからこそ
また、企業価値向上のための手段であるからこそ

各企業様によって必要なことや導入の進め方が違ってきます

技術変化のスピード

経営戦略

社内体制



生成AI導入無料個別相談会への特別ご招待

SHIFT AI

こんな方におすすめ

- 自社が他社と比較して活用が進んでいるのか否か立ち位置がわからない
- 何から手をつけていいかわからない
- 人材育成/研修について相談したい
- サービスの詳細を聞きたい

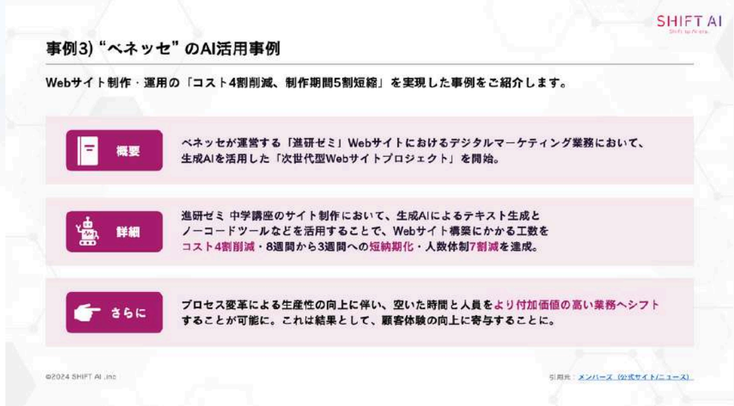
30分枠と60分枠をそれぞれご用意しております。

本日限定の追加特典

SHIFT AI

無料相談会へお申し込み頂いた方々への追加特典をご用意しました

特典

- **本日の登壇スライド**
- **生成AI活用企業事例集30選**

30分か60分どちらかを
お選びください。